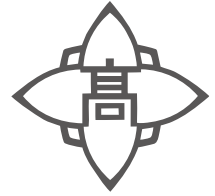




東 陵



第22号

福岡県立嘉穂東高等学校同窓会報

発行/令和元年10月 飯塚市立岩1730の5 嘉穂東高等学校同窓会

マンハッタンが
売り切れる……!!

先生早っ!!





ごあいさつ 東陵22号の発刊にあたって

嘉穂東高等学校 同窓会 会長
藤江 文雄 (高校9回生)

母校の公孫樹の葉もやっとなつて色づきはじめ、しのぎや
すい季節の訪れを感じますが、今年も全国各地が気
象異常に覆われました。皆さん方の辺りではいかがで
しょうか。被災された同窓生の皆さんに衷心よりお見舞
い申し上げ、一刻も早い復興を熱願しています。

地球規模で生じている温暖化がさまざまな異常現
象をひき起こしていると警鐘が打ち鳴らされて長い年
月が過ぎていますが、その根本的な対策、政策が地球
規模でなされていないことに、大きな不安を感じてい
ます。例え災害に襲われてもその復興はまず自力で、そ
して地方自治体で取り組まなくてはなりません。その地
方の疲弊はすごい早さで進んでいます。高齢化、若年
層の流出等で人がいない、財政の逼迫から逃れられ
ない現状では、個人ではもちろん、地方の行政の力で
はどうしようもない現状に、私たちの故郷の健全な発展、
存続に大きな危惧を感じています。

私たちに故郷を感じさせる一つに同窓会の存在が
あると考えています。幸いなことに母校の同窓会は全
国に散在する3万余の皆さん方のご理解とご協力
で将来を見通した活動を進めています。在校生達も学校
やPTAの活動で健やかに成長を重ねています。来年
は創立110周年を迎えます。同窓会としても母校の発
展及び在校生の自己実現に向けて僅かでも寄与でき
ることを願っています。

私たち役員は原則として毎月第②火曜日、19時から
会合を開いています。その中でいつも検討し思案を巡
らせているのが、創立110周年以後の同窓会のあり方
です。在校生の数は減少していきます。その事は財政的
基盤が薄れていくことを予言しています。その現実的な
事態にどう対処していかなければならないのか、容易

なことではありません。本部・各支部が一体となって叡
智を絞っていかなければなりません。いただいた案を
交えて役員会で熟慮検討し理事会に諮り、総会で成案
していくという道程を辿らなければなりません。その中
で心配なことがあります。それは理事の選出がなされて
いない回期があることです。高校卒51回と53回から61
回期まで。母校の歴史を紡いでいくためには各回期の
理事の存在が重要です。理事会の機能を充実していく
ためのご理解・ご協力を衷心からお願いいたします。

終わりに、嘉穂東高等学校同窓生の皆さん方の
益々のご多幸・ご健勝を祈願いたします。

話は変わりますが、明治43年故伊藤傳右衛門翁に
よって創立され、大正8年には県立高等女学校と改名
され、一層の女子教育の充実に力を注がれました。そ
のときの校歌に「琴平山に草萌えて、松の木蔭も風薫
り…」とあり、歌われていました。校舎が建った同じ高
台に金比羅様が祀られました。御利益があるというの
で、金比羅山(琴平山)と称されるようになりました。近
郊の人々が先を争って参詣し、門前市をなす賑わいを
呈したので、讃岐に倣って「門前町」と名付けられまし
た。しかし、その賑わいで環境が悪化してきたので、現
在の位置に移転されました。

移転先の現校地が、先史時代から遠賀川流域に多
くの集落が存在し、弥生時代に至るまで我が国の黎明
期における先進地域の中心地でありました。霊験あら
たな琴平山から古代に繁栄したこの地に移ったこと
に何か誇らしさを感じます。

※琴平山に関する文章は、飯塚市西町に在住の明観
寺住職の坂本法観氏からいただいた文章を参照さ
せていただきました。



ごあいさつ

福岡県立嘉穂東高等学校 校長

甲斐 直樹

「嘉穂高等女学校・嘉穂東高等学校同窓会総会」、おめでとうございます。

令和元年度総会・懇親会が第48回生の三好宏輔実行委員長をはじめ、会員の皆様方の御尽力により、本日ここに盛会のうちに開催されますことを心からお慶び申し上げます。

また、日頃から母校ならびに卒業生に対して物心両面にわたる御支援をいただいておりますことに厚く御礼申し上げます。

私は、前任の矢ヶ崎 裕和 校長に代わり、この4月に福岡県立稲築志耕館高等学校から赴任してまいりました、甲斐 直樹と申します。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。今年で教員生活37年目となりますが、筑豊(田川)生まれの筑豊育ちで、教員生活も最初の4年間を除き、すべて筑豊地区の高等学校で勤務させていただいております。郷土の未来を担う人材の育成のため、果たすべき高等学校教育の役割と責任を自覚し、教職員一丸となって全力で取り組んでまいり所存です。

さて、4月9日に第74回入学式を挙行し、237名の新入生を迎えて新しい年度をスタートいたしました。

5月16日には、創立109周年記念式典、記念講演会を開催し、記念講演会では、高校23回卒、浄善寺住職、飯塚市美術協会会長として御活躍中の原田 敏規 氏をお迎えし、「無財の七施」と題した御講演をいただきました。

5月28日は、嘉穂高校との野球定期戦を開催し、今回で106回を数える対戦は8対1で本校が見事勝利を収めました。

また、6月15日の文化祭において、恒例の同窓会の展示コーナーは文化祭の盛り上がりに一役買っただき大変感謝しております。

9月14日は体育祭を開催し、
"Be a performer.「魅せろ東の新時代」"
のテーマのもと、本校生徒の逞しい勇姿を保護者、地域の方々に披露することができました。

本校は来年、創立110周年を迎えます。現在、同窓会、PTAの御協力をいただきながら、記念事業等の内容について検討しているところです。生徒たちが先輩の努力によって築き上げられた110年の歴史に対する誇りを持ち、大きな夢や志を抱き新たな歴史を創り上げていく意欲につながるようなものを皆様とともに考えていきたいと思ひます。

また、教職員も生徒たちにより良い教育環境を提供し、嘉穂東高校が発展し続けることを大きな使命であると自覚しております。理想的な学び舎と言うにふさわしい環境の中で、「清純 礼節 理智 勇気」の校訓の具現化を目指して、更なる教育の充実に努めてまいり所存です。

最後になりましたが、母校に対する一層の御支援を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆様方の御健勝と、嘉穂高等女学校・嘉穂東高等学校同窓会のますますの御発展を祈念申し上げ、御挨拶といたします。



嘉穂東高校のレポートです。
現在の学校の様子です。

硬式野球定期戦 快勝しました！

第106回嘉穂東・嘉穂高校硬式野球定期戦が5月28日(火)に県営筑豊緑地野球場で行われました。雨の予報が出ていたため、実施が危ぶまれましたが、当日は雨も上がり、絶好の定期戦日和となりました。

今年は応援歌に「琉球コンバット」や「勲章コンバット」などの新しい曲が加わり、応援団の熱唱も見どころの1つでした。

試合では、ピッチャーの大谷くんが好投を見せ、三振をとるたびに観客席は大いに盛り上がりました。また、2年生の福田くん、3年生の西村くん、大谷くんがホームランを打つなど、終始嘉穂東のペースで試合が進み、結果は8-1の快勝でした。両校とも試合後にエールを交わし、互いの健闘を称え合いました。

2019
5/28(火)



体育祭 一生懸命頑張りました！

今年のテーマは、『Be a performer』～魅せる東の新時代～です。

赤・青の2ブロックが、このテーマのもと、1学期の終わりから約2ヶ月かけて準備をしてきました。各ブロック工夫を凝らした素晴らしい体育祭となりました。

総合優勝は、青ブロックでした。

2019
9/14(土)



▲ダンス



▲短距離走



▲綱取り



▲全体応援



▲赤ブロック応援



▲青ブロック応援



嘉穂東高校 母校の動き



平成31年度 教職員の異動

【転出】

(校長)	矢ヶ崎裕和	香椎高校へ
(教頭)	島村 芳治	武蔵台高校へ
(事務長)	阿部 稔	筑豊高校へ
(英語)	岡部 裕彰	直方高校へ
(数学)	野口 高志	嘉穂高校へ
(英語)	中島 美歩	福岡講倫館高校へ
(保健体育)	川原佑里佳	久留米筑水高校へ
(理科)	岸 まどか	稲築志耕館高校へ
(数学)	中嶋 茂	鞍手高校へ
(司書補)	前田 由美	東鷹高校へ
(実習助手)	永末 玲奈	嘉穂高校へ

【転入】

(校長)	甲斐 直樹	稲築志耕館高校より
(教頭)	大串 秀博	筑豊教育事務所より
(事務長)	川原 達子	鞍手竜徳高校より
(数学)	大庭真一郎	中間高校より
(理科)	毛利 吉昭	春日高校より
(数学)	壁矢 卓	東鷹高校より
(保健体育)	松田 祥幸	新規採用
(英語)	松本 真綾	新規採用
(事務)	宮崎 貴行	嘉穂東高校定時制より

卒業生進路実績 ※合格者延べ人数

第71回生(平成31年3月卒業)

○国公立大学	4名	
九州工業大学	1名	北九州市立大学 1名
東京外国語大学	1名	下関市立大学 1名
○私立大学	148名	
西南学院大学	9名	中村学園大学 4名
福岡大学	22名	産業医科大学 1名 他
○私立短期大学	25名	
○看護系専門学校	13名	
麻生看護大学校	3名	北九州看護大学校 1名 他
○医療系専門学校	27名	
○その他の専門学校	53名	
○公務員	23名	
国家公務員	3名	刑務官 1名
海上保安官	1名	福岡県職員 4名
嘉穂市職員	1名	糸田町役場 1名
篠栗町職員	3名	福岡県警 1名
大阪府警	1名	自衛官 7名
○民間就職	12名	

部活動実績報告(九州大会)

【水泳部】

- 第67回全九州高等学校水泳競技大会 出場
 期日:令和元年7月13日(土)~15日(月)
 会場:鴨池公園水泳プール(鹿児島県鹿児島市)
 花岡 風矢(3年) 50m自由形・100m自由形
- 第81回全九州高等学校選手権新人水泳大会 (末弘杯) 出場
 期日:令和元年9月28日(土)29日(日)
 会場:福岡県立総合プール
 花岡 七帆(1年) 50m自由形・100m自由形

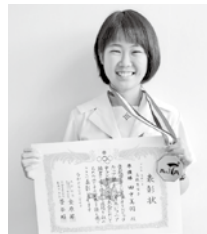


▲右 花岡風矢(3年) ▲中央 花岡七帆(1年)

在校生の活躍

7月27日から28日に長野県で行われた「第12回 全日本ジュニアテコンドー選手権大会」において、嘉穂東高校3年の田中美羽(みう)さんがブムセ(型)部門で準優勝を果たしました。

▼西日本新聞掲載記事



◀田中美羽(3年)



平成30年度 同窓会入会式

■2019年2月28日(木)

卒業式の前日に、毎年同窓会入会式が開催されています。今年は235名の卒業生が晴れて同窓会の会員となりました。母校体育館は凜とした雰囲気です。生徒たちの着席する姿勢も話を聞く態度も素晴らしいものがありました。

矢ヶ崎校長の挨拶に続いて、藤江同窓会会長からは、入会歓迎の挨拶とともに、体育館に掲げる「嘉女の校歌」を毛筆で書いていただいた母校書道部出身の大塚幸子さん(高校60回生)の紹介がありました。

卒業後の同窓会クラス幹事紹介のあと、入会のことばでは、生徒代表の廣島和希君が「私たち第71回卒業生は、只今、本校同窓会に入会することを認められました、誠にありがとうございます。思い返してみると、3年間でたくさんのことを学びました。今後、私たちは嘉穂東高校で学んだことを生かしてそれぞれの進路へと旅立っていきます、そして、本校の卒業生としての誇りと同窓会の会員であるという自覚を持ち、日々精進を重ねていくことを誓います。」と力強く挨拶しました。



嘉穂東高校同窓会奨学金授与式

■2019年3月25日(月)

同窓会給付型奨学金が創設され今年で5回目を迎えます。今年は2019年3月25日に母校校長室にて、校長推薦で選ばれた2名の生徒に藤江同窓会長より直接、奨学金が手渡されました。(保護者同席のもと)

この制度が、より高い目標を持ち努力を続けている生徒の一助になればと願っています。

●規定

- 1.同窓会奨学金の区分、対象者及び給付の額は、次の通りとする。
- ◆区分:特別 ◆対象者:学校長推薦・特に成績優秀・品行方正で他生徒の範となる者 ◆金額:100,000円 ◆適用:2名以内
- 第2条前条に定めのない事由が生じたときは役員会で定め、理事会に報告するものとする。附則この規定は、平成27年1月13日から施行する。



高校49回生・50回生 同窓会委員への当番説明会

■2019年2月12日(火)

高校49回生(平成9年卒)、高校50回生(平成10年卒)同窓会委員への当番説明会をのがみプレジデントホテルにて開催致しました。役員会主催で、来年当番を迎える49回生、再来年当番を迎える50回生の同窓会委員を迎え、当番の流れ(実行委員会準備から解散までの概要・組織図の例)を説明いたしました。

早めに声掛けをすることにより、10月の総会・懇親会で「次期当番生」としての準備が少しでもスムーズにいければと思います。また、今回は昨年当番が終了した47回生と、今年の当番・48回生も同席され、今後の情報交換のための顔合わせも出来ました。当番生の皆さんよろしくをお願いします。

創立百十周年事業に向けて

2020年、母校は創立百十周年を迎えます。現在、学校・PTA・同窓会の三者で百十周年事業実行委員会の設立・開催に向けての会議が開かれております。今後は規約の検討、事業の運営組織立ち上げ、業務分担、式典の日程など事業の詳細が話し合われていきます。



▲創立百周年時の航空写真(生徒による人文字)

還暦だより 高校29回生

還暦同期会を開催して

■29回生還暦同期会

■平成30年10月27日(土)

のがみプレジデントホテルでの懇親会には約60名、その後、会場を移動しての同期会には更に多く(70名弱)の仲間が集まり、久しぶりの再会に話題は尽きることなく、大いに盛り上がりました。

大村 篤生(高校29回生)



同窓会支部だより

総会・懇親会・同期会

嘉女・嘉穂東会 in くまもとの報告

■開催日:2019年4月6日(土)

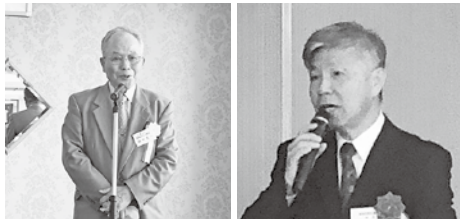
■場 所:アークホテル熊本城前

4月6日(土)34名のご参加を得て第15回「嘉女・嘉穂東会inくまもと」を「アークホテル熊本城前」にて開催いたしました。地元熊本その他、鹿児島、福岡支部、飯塚の同窓生の皆様と、本部同窓会より藤江会長様始め3名のご参加を頂きました。今年赴任なさった甲斐直樹校長先生手作りの「学校近況報告」で、母校の現在を遠く離れた熊本で知ることができました。

嘉穂高校熊本支部からも2名のご参加を頂きました。今年も「熊本城主」の権利をくじ引きで1名の方に進呈いたしました。「令和元年五月一日」に手続きをいたします。初対面の方とどこかで繋がっていることが発見できたり、同窓会の醍醐味を噛み締めた一日でした。今年10月には熊本城も天守閣前まで入城できることとなります。

来年も4月第1土曜日に熊本でお待ちしています。

お世話係 畠山 祐子(高校32回生)



関西支部総会・懇親会・活動の報告

■開催日:2019年4月20日(土)

■場 所:大阪キャッスルホテル

今年は関西支部創立10周年の節目の総会でした。100名以上の参加で「同窓会は故郷を想う心の休憩所」との思いを持ち、昨年の総会の直後から、役員を中心に幹事の皆さんのご協力を得ながら準備を進めてきました。

関西支部の設立以来、ご参加いただいていたメンバーの方も健康の不安等の事情から年々、出席が減少している中、各回生の幹事の方に参加の依頼の為、それぞれ的手段で連絡を頂き、又、回生幹事がいない年次の全員には事務局より案内し、目標の100名には届きませんでした。藤江本部同窓会長、甲斐校長等の来賓の方も加え総勢82名の参加となりました。飯塚、岡山、名古屋からも駆けつけて頂き嬉しい限りです。中でも最年少の森藤さん(高校50回生)の参加は格別でした。嶋田光一氏(高校25回生)による「わが学び舎の大地は古代遺跡の宝庫」の講演は永年の研究に裏付けられた興味深い内容でした。懇親会も、「会員さんの出し物」で会員の作品の披露、「テーブル対抗クイズ」の故郷に関する難問にテーブル毎に相談し回答するなどし大いに盛り上がりました。又、前年度当番生による「母校の現状スライド」の紹介があり皆さん、大変懐かしく感じました。逍遥歌に続き、今年度当番生の三好実行委員長の「フレイフレイ東、フレイフレイ関西」で会を締めくくりました。

又、数年前から企画していた「同窓会関西支部創立10周年記念誌」も無事に完成できほっとし喜んでます。これからも「参加して楽しかった」と感じて頂けるように企画を考え運営していきたいと思っております。皆さんのお力添えをお願いします。最後に、創立以来10年の間、支部長としてご尽力いただいた田中前支部長に感謝申し上げます。

支部長 長谷川 浩二(高校16回生)

同窓会支部だより

総会・懇親会・同期会

東京支部総会・懇親会の報告

■開催日:2019年5月25日(土)

■場 所:ホテルグランドアーク半蔵門

今年の総会には柴田さん(高校22回生)を中心とした当番生の頑張りでもって118名を迎えての盛大な総会となりました。特別ゲストには、24年間教鞭をとられた浅野林太郎先生をお迎えし、恩師との昔話に花が咲きました。

また、井手せつ子さん(高校17回生)による歌とプロギタリストとの掛け合いによる余興は圧巻で、会場全体が一体感に包まれました。

さらに本年の総会を迎えるにあたっては、出席ゼロ学年に対して手紙による参加の呼び掛けを手分けして活動した結果、うれしいことに2学年から新たな参加者を迎えることもできました。

振り返ってみると、支部発足満40年を迎えますが、多くの先輩方のご苦労によって東京支部は築かれました。「水を飲む時、井戸を掘った人のことを忘れるな」との箴言がありますが、この母校を愛する諸先輩の熱き思いを受け継ぎ、さらなる発展に心掛けて参ります。今後とも温かいご協力ご支援をよろしくお願い致します。

支部長 中野 滋徳(高校12回生)



福岡支部総会・懇親会・活動の報告

■開催日:2019年6月22日(土)

■場 所:天神スカイホール(西日本新聞会館16F)

■<https://kahohigashi-doso-fukuoka.com>

例年、福岡支部の総会は、梅雨の真只中に開催されていますが、本年は梅雨入りが遅く好天の中での開催でした。特に本年は、令和という新元号のいわれが福岡支部の地元でもあります太宰府にあるということで、幹事一同、一層の総会盛り上げに早くから準備を進めて参りました。

総会での講演は、飯塚歴史資料館の鳴田館長で、令和元年に相応しい時を得た内容であり、推薦人でもありました、故安藤先輩の意思が届くものでした。

懇親会の総司会は、山本幹事と真島幹事が担当致しましたが、山本幹事につきましては、当番を終えた人の中から、翌年度の福岡支部幹事就任制を採用しての第1号であり、もう9年が経過致しました。

演芸大会の司会は、一昨年の当番生、実行委員長の戸田幹事と昨年度の実行委員長、久家幹事が担当しましたが、独自のアイデアで会を盛り上げてくれました。出し物も各回生がそれぞれの芸を発表し、懇親会に参加された方々から、「とても楽しかった。おもしろかった。」と大好評でした。出演頂いた方々は、多忙の中で練習を積まれたと思いますし、ご協力に厚く御礼を申し上げます。

福岡支部も30回総会に向かって新たなスタートです。支部の益々の発展のため、幹事一同、一帯となって前進して参ります。今後とも福岡支部をよろしくお願い申し上げます。ありがとうございました。

支部長 田代 勝(高校15回生)



Interview



Q1…漫画家を目指したきっかけは？

漫画家になりたいと思ったのは小学校1年生。—らしい—というのは、私は覚えてなくて、担任だった先生が覚えていました。途中でやめたりしたけど、結局漫画家を志したのは中学2年生の頃。はつきり決めた高校生の時は夢ではなく目的です。

Q2…高校卒業後は？

アルバイトして貯金し19歳の春に上京。東京デザインカレッジ夜間部に入学。アルバイト、会社勤務などをしながら通学。そのカレッジが夏に倒産。(後期の授業料、納める前であった)

高校の頃から出版社に投稿を続け、1970年雑誌「フアン」でデビュー。以後何とかかんとか漫画を描き続けています。

Q3…おもな作品は？

おおざっぱに分けると、
「千歳のしらべ」など、民話伝説もの
「やさしい番長シリーズ」などのコメディ
「モンゴル滞在記」現在7巻

Q4…嘉穂東高校での思い出は？

高校時代は美術部に1年在籍。体育祭のキャンプファイヤー、うらやましいというか悔しいというか、何で男子ばかりで女子は参加できないの…と。それを漫画に描いてみました。

あまり勉強に身を入れなかったので友だちのおしゃべり、世の中の事や人間のことや哲学(?)やら。飯塚中の古本屋や書店を



松下り子さん
(高校20回生)
漫画家
ペンネーム: 松本るい
嘉穂郡穎田町出身



まわって立ち読みしていました。担任の先生は不良になったのではと心配していたようです、他の先生が見かけて報告したでしょうね。他愛のない、益体もない、自由なよくある青春をやっていました。

Q5…母校の生徒にメッセージを

若い人には、頭の中を自由にしておいて心の中はしっかり核を持って下さい。高校時代は、いろいろな事を考え、吸収し、核を作る時期です。

【編集部より】

東京支部総会に参加されていた松下さんを取材させていただきました。今後は、「大分布院に移住して、絵や漫画を描きながらパートで働いて生きて行く」と準備中。とのこと。松下さんの今後のご活躍を祈念いたします。

広報部長 永井潤子(高校32回生)

母校ボランティア部の皆さんの活躍

2019年6月28日に、ライオンズクラブ国際協会337-A地区 第65回年次大会にて飯塚竜王ライオンズクラブが、嘉穂東高校ボランティア部の皆さんと「小児がん治療研究支援のレモネードスタンド」を開催しました。生徒12名、先生1名が参加され、会場を急ぎ足で行き交うライオンズクラブの方々、可愛い声に足を止めて、美味しいレモネードに癒されておられました。参加のお礼に「CCAJ公益財団法人 がんの子どもを守る会」のバッチをプレゼントしました。

また、10月9日には嘉穂東高校にて、飯塚竜王ライオンズクラブの浅田洋子前会長より「感謝状」の贈呈が行われました。

林田典子広報部員(高校31回生)





ごあいさつ

嘉穂高等女学校・嘉穂東高等学校
2019年度同窓会総会 実行委員会
実行委員長

三好 宏輔 (高校48回生)

来夏56年ぶりに日本で開催される2020東京オリンピック・パラリンピックを控え、日本各地ではバレーボール・ワールドカップやラグビー・ワールドカップでの日本勢の躍動に心を打たれ、スポーツの秋を感じる季節となりました。皆様におかれましては、ますます健幸な日々をお過ごしのこととお慶び申し上げます。

嘉穂高等女学校・嘉穂東高等学校2019年度同窓会総会を開催するにあたり、当番幹事の48回生を代表いたしまして、ご挨拶申し上げます。

昨年、47回生より襷(たすき)を引き継ぎ、この一年間で先輩方や地域の方々との多くのご縁、そして多くの学び、同期生と過ごしたかけがえのない時間、すべてが私自身のとても大きな財産になりました。今年度のスローガンである『Hello, Again～昔からある場所～』は、一人でも多くの同期生との再会を願う気持ちはもちろんですが、同じ故郷、同じ学び舎で育った私たちが、様々なご縁と流れゆく時を経て、懐かしきもある飯塚の地で、再び元気な姿で一堂に会する喜びを皆様と共に分かち合いたい、という願いが込められております。

私たち48回生実行委員会は「一致団結・和気あいあい」をモットーに頑張ってきました。思い起こせば、最初は定例会議に4～5人くらいしか集まらない時が多々あり、企画や広報など各委員会に業務を分担することができず、すべてを全員でやるという感じで委員各自に負担をかけたと思います。紆余曲折しながら歩む私たちを、歴代の実行委員長をはじめ経験のある先輩方がたくさん手を差し伸べてくださいました。苦しい時期を乗り越え、楽しい時

期がやって来るもの。今となつては、それが私たちの絆を育み、共感してくれる同期生も徐々に増え、30名となった実行委員は一人も欠けることなく今日を迎えることができたことが私の誇りです。

一生に一度の当番幹事、長いようで短かった一年間。様々な出来事を経験したことで、私を含め同期の仲間たちは大きく成長したと感じます。これも47回生の先輩方をはじめ、多くの先輩方や母校の支援をいただいたからこそ。心より感謝申し上げます。

元号も令和になり、新時代の幕開けに相応しい同窓会、『Hello, Again』を合言葉に、賑やかしくも感動のある時間を皆様と共に作り上げたいと考えておりますので、どうぞ宜しくお願い致します。

最後に、同窓会を開催するにあたり、広告・協賛・物販のご協力をいただきました全ての皆様に、心より御礼申し上げます。ありがとうございました。今後も嘉穂東高等学校ならびに同窓会が益々発展されますことを願ひまして、私のご挨拶とさせていただきます。



2020年度 総会・懇親会のお知らせ

2020.10.24(土) 総会 12:00~ 懇親会 13:00~

会場: のがみプレジデントホテル

スローガン: 「心友 sinyu ~110年の縁と絆~」

同窓会会員の皆様、当日は私たちが精一杯おもてなしさせていただきますので、より多くのご参加をお待ちしております。



2020年度同窓会総会実行委員長
須藤 崇 (高校49回生)

本部役員 (H30.9~R2.9)

会長	藤江文雄(高9)
副会長	花田正(高23)
副会長	井上有比古(高24)
副会長	近藤哲司(高31)
副会長	伊藤浩之(高32)
総務部長	縄田建一(高40)
財務部長	小林英樹(高42)
広報部長	永井潤子(高32)
企画部長	久保井英樹(高44)
監事	大塚修一(高19)
監事	須堯勇人(高24)

福岡支部役員 (H30.4~R2.3)

支部長	田代勝(高15)
副支部長	兒嶋佳苗(高18)
副支部長	岩佐守(高19)
副支部長	花岡清利(高19)
事務局長	小川民夫(高20)
事務局次長	本田博文(高23)
事務局次長	野見山武典(高25)
広報局長	原中圭子(高35)
広報局次長	阿部令子(高24)
会計	入江裕章(高21)
会計	淀川雄治(高21)
幹事長	武谷政道(高21)
副幹事長	野見山清豪(高24)
会計監査	藤正敏(高18)
会計監査	里弘和(高22)

東京支部役員 (H31.4~R2.3)

支部長	中野滋徳(高12)
副支部長(会計事務局)	伊藤房憲(高20)
副支部長(渉外担当)	井手せつ子(高17)
事務局員(会計)	村山夕紀子(高20)
会計監査	野見山照久(高11)
会計監査	柴田芳彰(高22)
活性化委員長	徳永秀昭(高11)
幹事長	田原親志(高20)

関西支部役員 (H30.4~R2.3)

支部長	長谷川浩二(高16)
副支部長	荒巻建蔵(高15)
副支部長	伊藤日出雄(高21)
事務局長	花村二郎(高26)
会計	平田和洋(高27)
会計監査	福間正浩(高11)
顧問	田中良一(高8)

同窓会事務局

事務局長 上村浩朗 (高35)

本部だより

■年会費について

現在、母校では生徒数が大幅に減少し準会員の会費収入は以前と比べて減少しております。加えて、学校の教育活動の充実のために県に予算要求を重ねておりますが、県の予算も逼迫しているのが実情で、同窓会から学校への物品購入にも支援を行っております。さらに、成績優秀な生徒を対象に同総会奨学金制度も創設し5年が経過いたしました。

また、基金積立金やクラブ後援会にも毎年、定額を繰入れしております。平成27年より正会員の会費として、同窓会会員の皆様から年会費3,000円をご納入いただく事が決定し、毎年趣意書と振込用紙を封書にて会員の皆様に発送させていただいております。同窓会のさらなる充実と財政基盤の確立、母校の発展のため、年会費納入につきまして皆様のご理解ご協力をお願い申し上げます。

編集後記

企画広報部は平成30年の総会時より、企画部と広報部に分かれ、企画部は同窓会懇親会や、記念事業・周年事業の企画・運営に関する事務を担当し、広報部は会報誌「東陵」「東陵特別版」の編集および発行をはじめ、広報全般を担っております。

今後、広報部は「東陵」「東陵・特別版」に加え、同窓会公式ホームページでも最新のメッセージや多岐に亘る情報を発信してまいりますので、卒業生の活躍や同期会の報告、恩師の近況など皆様からの様々な情報をお寄せください。お待ちしております。

広報部

写真提供: 飯塚青年会議所

ツール・ド・KAMA

開催日: 令和元年9月15日(日曜日)

会場: 飯塚オートレース場

第5駐車場(スタート、ゴール)

自転車で飯塚、嘉麻、桂川の2市1町を巡り、地域の魅力を体感してもらう「ツール・ド・KAMA」(飯塚青年会議所など共催)が9月15日、飯塚市を発着点とするコースで初めて開かれました。県内外から参加した約560人は、それぞれの「愛車」にまたがり、嘉飯桂地区の景色や休憩所で振る舞われる食を楽しみました。

このイベントは、着順やタイムは競わず、街中や山間部を走るロング(約120km、約440人)とショート(約60km、約120人)の2コースで実施され、小学校低学年から70代までの参加者は午前8時、飯塚オートレース場駐車場から10人ずつ出発。嘉穂アルプスの林道を上り、王塚古墳(桂川町)の歴史に触れ、休憩所ではご当地のスイーツや果物を堪能しました。



■同窓会公式HPについて

ホームページでは、役員会や理事会の案内・理事会議事録・同窓会活動の報告・学校行事の紹介・卒業生の話題・各支部総会の報告・創立百周年記念の時の情報・刊行物の案内など、母校の情報を満載しております。また、スクールサポーターとしての寄付金(1口2,000円)を5口以上ご協力いただいた企業・個人の方はHP画面の右のバナー部分で紹介させていただくことが可能となっております。



スクールサポーター募集について

常時受付中!

「嘉穂東高校同窓会奨学金」制度が創設されて以来、毎年2名の生徒に授与しております。このたび、さらに1名でも多くの生徒への授与を目的として、「スクールサポーター」というかたちで、嘉穂東高校同窓会への寄付金を受け付けることとしました。1口2,000円となっております。5口以上の企業・団体・個人の方は、ご希望により同窓会ホームページ内のバナーに掲載・ご紹介させていただきます。下記の郵便振替にてお申込みください。

◎郵便振替/新飯塚駅前郵便局 01790-8-142749 福岡県立嘉穂東高等学校同窓会
◎スクールサポーターについてのお問合せ/ito@ima-gine.jp (広報担当:伊藤)まで

スクールサポーター企業のご紹介

- (株)アービックホームズ
- ジェンテックス・ジャパン(株)
- 飯塚信用金庫
- 社会福祉法人清知会 なつき保育園
- (株)飯塚花市場
- (株)ナカジマ建設
- 井上洋服店
- 中嶋プロバン瓦斯(株)
- 今心(株)
- (株)ニッツー
- フリーペーパー-WING
- (株)のがみのがみ総合グループ
- (株)エース・デンタル
- 福豊帝酸(株)
- エムアンドシーコンサルティング株式会社
- (株)マクリー うめはうす
- 大塚石材株式会社
- 村上ホーム(株)
- OKINAWA KISEKIHOUSE EAST&WEST
- 吉岡スタジオ
- (株)クボイ
- (株)ライフパートナー 住宅型有料老人ホームはなみずき
- 医療法人康和会 アイ歯科医院
- 楽天生命保険(株)代理店 佐藤伸一朗
- 佐野医院
- (株)リースキン・サトー
- (株)さんぐん
- (50音順・敬称略)

同窓会公式ホームページでは、同窓生の皆様からの情報をお待ちしております。

●同窓会公式ホームページアドレスは <http://kahohigashi-doso.net> です。

嘉穂東高校同窓会

